

呉工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	校外実習
科目基礎情報						
科目番号	0057		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年	4		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材	なし					
担当教員	岩本 英久					
到達目標						
1. 企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。 2. 派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身につけること。 3. 校外実習の報告書の作成・提出、発表の準備および校外実習報告会での発表と質疑応答ができること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力をより良く身につけること。		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけることができない。	
評価項目2	派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方をより良く身に付けること。		派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。		派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けることができない。	
評価項目3	校外実習の報告書の作成・提出、発表の準備および校外実習報告会での発表と質疑応答がより良くできること。		校外実習の報告書の作成・提出、発表の準備および校外実習報告会での発表と質疑応答ができること。		校外実習の報告書の作成・提出、発表の準備および校外実習報告会での発表と質疑応答ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HD)						
教育方法等						
概要	校外実習は、企業等の現場の実状に触れることにより、技術に対する社会の要請を知るとともに学問の意義を認識すること、学問と生産の関連を体験することにより、自己能力を開発する基礎を養うことおよび技術者としての問題意識を養い卒業研究における自立性を高めることを目的としている。多くの受入れ企業では、学内では見られない最新鋭の機械や設備を使用した教育メニューにより実習を行っており、エンジニアとしての自覚や工学的センスを養成するのに寄与している。本セミナーは、就職に関連する。					
授業の進め方・方法	夏季休業中に、夏季実習を実施している企業において実習を体験する。（原則として2週間） 夏季実習終了後に報告書の提出及び報告会での発表を義務づける。					
注意点	学校外であるので、全て自分の責任で処理をする必要がある。一社会人である自覚を持って、行動することが求められる。学生だからという甘えは許されないことを十分に自覚する必要がある。質問等が生じた場合には派遣機関の担当者に直ぐに聞くこと。分からないことはそのときに解決することが大切である。派遣先が決まったら、さらに派遣予定機関の業務内容を十分に調べておくこと。派遣期間中は次の日にやることを下調べをしておくこと。派遣機関において指示された業務に早く慣れ、実習目標を達成するよう努力すること。毎日の業務終了後に反省と次の日の復習及び目標を考えておくこと。校外実習終了後は出来るだけ早い時期に報告書をまとめておくこと。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	実習受け入れ機関の選定 申し込み（4月～7月）		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。	
		2週	実習受け入れ機関に学生派遣 夏季休業中（8月～9月）		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。	
		3週	"		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。	
		4週	"		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。	
		5週	"		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。	
		6週	"		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。	
		7週	"		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。	
		8週	"		企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。	

[illegible]

		14週	''	企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。
		15週	''	企業等の現場を経験し、技術者としての問題意識を芽生えさせ、問題解決力を身につけること。派遣企業において与えられた業務を遂行する中で、社会のニーズへの取り組み方を身に付けること。
		16週	校外実習報告書の提出 実習報告会（10月）	校外実習の報告書の作成・提出、発表の準備および校外実習報告会での発表と質疑応答ができること。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	専門的能力 の実質化	インターン シップ	インターン シップ	企業等における技術者の実務を理解できる。	4	前3,前4
				企業人としての責任ある仕事の進め方を理解できる。	4	前1,後13
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を総合的に判断することの重要性を理解できる。	4	
				企業における社会的責任を理解できる。	4	前1
				企業活動が国内外で他社(他者) とどのような関係性を持つかを理解できる。	4	前1
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを理解できる。	4	前5
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができ、それを高めようと努力する姿勢をとることができる。	4	
				コミュニケーション能力や主体性等の「技術者が備えるべき能力」の必要性を理解できる。	4	前7
				実際の企業人等との仕事を通して自身のキャリアデザインを明確化することができる。	4	前8
				社会経験をふまえ、企業においても自分が成長していくことが必要であることを認識できる。	4	
				実務体験を企業や職種とのマッチングの場として考えて積極的な行動ができる。	4	

評価割合

	派遣先機関の評価	報告書評価	発表態度評価	合計
総合評価割合	50	25	25	100
基礎的能力	0	0	0	0
専門的能力	50	25	25	100
分野横断的能力	0	0	0	0